



問 行政経営課 内線 246

### Question 1

## 定住自立圏構想ってなに？

### ■ 構想の目的

美濃加茂市の人口も、今後の30年間で、大幅に減少するといわれています。人口は、ますます大都市へ集中し、地方の生活環境は非常に厳しくなることが予想されます。

そうなる前に、今から、「美濃加茂はいいところだ。名古屋へ行かなくてもここで十分生活できる」と、皆さんに言っていただける環境を作っていかなければなりません。

では、人が生活するためには、何が必要なのでしょう。まず、住む場所と働く場所が必要です。そして、医療・福祉や治安など安心・安全な環境、そして自然や文化・スポーツを楽しめる場所がたくさんあることなどがあげられます。

そのために、今、地域が持っている魅力を高め、さらに、新しい魅力を生み出すことで、いろいろな生活に対応できるまちをつくる必要があります。

その目的の実現のために、美濃加茂市だけではなく、周辺の町村と力を合わせていくことが大切です。それぞれの地域が持つ魅力を、お互いに連携・協力してさらに魅力あるものにしていくことが、定住自立圏構想です。

### ■ 1対1の協定

「また、合併なの？」と思われるかもしれません。しかし、この構想は、合併とは全く違う方法で地域を活性化しようとするものです。

まず、それぞれの地域が持つ強みを探します。そして、一緒に取り組むことにより効果が上がるものがあれば、1対1の協定を結んで、具体的な取り組みを開始します。つまり、周辺のすべての町村と全く同じ基準を決める合併とは違い、お互いの強みをさらに高めようとするのが、定住自立圏構想です。



## Question 2

# どんな市をめざすの？

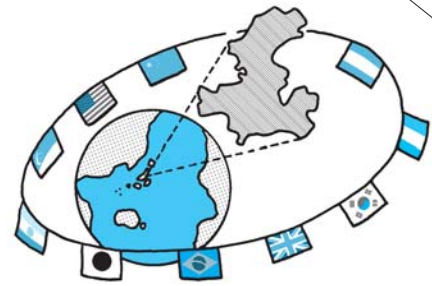
### ■ 将来計画

住み続けたい地域には、必ずその地域に誇りがあります。地域の誇りを持って、全国どこへ行っても、自信を持って「美濃加茂」の名前を出せる地域にしていきたいと思えます。

では、具体的にどんなことに取り組んでいくのでしょうか。

たとえば、産業振興の分野において、地域の特産物を地域の民間企業とタイアップして新しい商品として開発し、販売ルートを拡大することができれば、全国に誇れる美濃加茂の特産品としての夢がふくらみます。

こうして、地域の民間企業などとの連携により、医療、福祉、教育など、あらゆる分野において、バランスのとれた、地域に生活する人が自慢できるオンリーワンのまちづくりを進めていきます。



## Question 3

# 今、どんなことをやってるの？

### ■ 民間共生ビジョン懇談会、推進会議

地域が自立するためには、地域の民間企業や団体が元気でなければなりません。そのために、市役所だけでなく、民間の方々の夢や希望をどんどん計画に取り入れていくことが重要です。

現在は、市内の企業経営者の方々などで、将来の夢を語る「共生ビジョン懇談会」やその夢を現実にするための「ビジョン推進会議」を設置して、将来の美濃加茂市について話し合いを進めています。



▲「定住自立圏共生ビジョン懇談会」

## Question 4

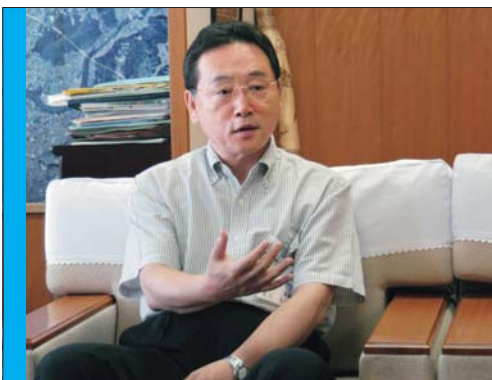
# これからどんなふうに進めるの？

### ■ 第1号として坂祝町と協定

構想は、1対1の協定を結ぶことでその一歩が始まります。周辺の町村とは全く同じ立場で協議を進めていますが、その第1号としてお隣の坂祝町との協定を先行していきたいと思えます。今後、さらに地域を拡大していきたいと考えています。

### ■ 市議会議決

協定を結ぶためには、市議会と町議会の決定が必要です。それぞれの地域の強みや課題について協議し、お互いに納得できる内容について協定することになります。



## 生き残れる都市をめざして

定住自立圏構想は、全国の都市がお互いに競い合いながら進めています。国も、積極的に企画・提案を出す都市には、どんどん支援をすることを約束しています。美濃加茂市も、全国に先駆けて、将来も地域のリーダーとして生き残れる都市を目指し、構想を積極的に進めていきます。

美濃加茂市長 渡辺直由